

みんなで作る まちの話題



八竜地域

秋の例大祭

9月16日、17日にかけて、八竜地域で秋の例大祭がおこなわれ、各自治会が、宵宮やおみこしで秋の豊作を祈りました。

9月17日、浜田自治会（清水義孝会長）では、涌出神社にお参り



▲みんなで八竜音頭 浜田自治会

した後、おみこしを引いて自治会内を練り歩きました。

また、途中の広場や施設の駐車場では、「浜田祭り踊りたあい隊」の皆さんによる八竜音頭、お米ありがとう音頭が披露されました。

清水愛子さんは「途絶えていた踊りを8年前に復活しました。八竜らしさを表現した踊りで、みんなが楽しく、元気になってほしいです。」と見学に訪れた人も一緒になって踊りを楽しんでいました。

鵜川自治会（佐々木鈞会長）では、集会所に集まった3つのおみこしがそれぞれに分かれて自治会内を練り歩きました。

元気よく「わっしょい、わっしょい」のかけ声をあげながらおみこしを引く姿を、沿道で地区のみなさんがあたたかく見守りました。



▲威勢良くみこしが練り歩く 鵜川自治会

平和への思いを新たに 戦没者追悼式

8月18日、三種町戦没者追悼式が山本公民館で開かれ、遺族や町関係者約80人が参列しました。

黙つた後、三浦町長が「私たちは、先の大戦から学び取った多くの教訓を忘れず、先人が築き上げた歴史、文化、施策を糧とし、町民が一丸となり、まちづくりを力強く歩んでいくことをお誓い申し上げます」と式辞を述べました。

この後参列者は御霊へ献花と追悼歌を捧げました。また、遺族代表謝辞で大山アキさん（鯉川）が息子の帰りを待つていた亡き母しのびました。



▲世界平和を願い

実りの秋を実感 農業体験交流会

9月16日、鹿渡地区山谷の農場で、自然農園みたね（加藤勝行代表）が主催し、秋季農業体験交流会が行われました。

この日は、町内外から約40人の参加者が農場を訪れ、子どもたちはサツマイモを掘り当てては「大きい」、「たくさんある」と喜んでいました。

今年は4種類、約1200本のサツマイモを植えて、昨年よりも収量や形も良かったと話していました。

体験後は、大きく育ったサツマイモのプレゼント、ふかし芋や焼き芋が振る舞われ、味覚の秋を感じ取っていました。



▲実りの秋・味覚の秋